

もも・ネクタリン特報 号外



2022. 6. 1

J A 中野市営農センター

J A 中野市りんご・もも部会

もも・ネクタリン収穫開始期予想一覧表

○平岡地区の収穫開始期予想です。南部地区は、2～3日程度早まります。

○本年満開日（平岡地区） 白鳳 4/20 ファンタジア 4/19 ※平年比-1日（概ね例年並み）

収穫開始期の予測は、満開後成熟日数を基本に調整を加えた期日、収穫ピークは開始期より3～5日後。

●今後の気象状況（満開後50日までの平均気温。収穫前の気温・日照量、降水量など）によって前後しますので、管理作業の参考としてご活用ください。

品種名	本年	平年	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26
サマークリスタル	7/15	7/16	7/16	7/15	7/11	7/16	7/22	7/11	7/16	7/21
晶光	8/1	8/2	8/1	8/1	8/2	8/1	8/6	7/27	8/1	8/6
フレーバー・T	8/15	8/17	8/14	8/13	8/19	8/15	8/21	8/8	8/15	8/19
和手	8/18	8/19	8/20	8/18	8/19	8/19	8/22	8/12	8/19	8/23
ファンタジア	8/27	8/28	8/28	8/25	8/29	8/25	9/7	8/21	8/25	8/31
秀峰	9/7	9/8	9/3	9/3	9/13	9/8	9/11	9/2	9/8	9/13
日川白鳳	7/14	7/15	7/19	7/14	7/15	7/13	7/18	7/8	7/13	7/17
たまき	7/13	7/14	7/13	7/13	7/15	7/13	7/18	7/9	7/13	7/17
赤宝	7/13	7/14	7/13	7/13	7/15	7/13	7/19	7/10	7/13	7/18
日の出(中生系)	7/21	7/22	7/22	7/21	7/25	7/20	7/23	7/18	7/20	7/24
秘味黄金	7/22	7/23	7/23	7/22	7/25	7/22	7/27	7/19	7/22	7/27
白鳳(在来系)	7/25	7/26	7/24	7/23	7/29	7/26	8/1	7/21	7/26	7/30
白鳳(日の出)	7/27	7/28	7/25	7/24	7/31	7/27	8/3	7/23	7/27	8/1
あかつき	7/29	7/30	7/28	7/28	8/1	7/29	8/5	7/24	7/29	8/4
滝の沢G	8/2	8/3	8/4	8/4	8/3	8/1	8/9	7/30	8/1	8/4
山根白桃	8/11	8/12	8/12	8/12	8/15	8/10	8/17	8/6	8/10	8/14
長沢白鳳	8/9	8/10	8/11	8/10	8/13	8/9	8/16	8/2	8/9	8/13
なつっこ	8/8	8/9	8/8	8/7	8/11	8/8	8/14	8/3	8/10	8/13
おどろき	8/18	8/19	8/18	8/18	8/23	8/19	8/20	8/15	8/20	8/24
川中島白桃	8/19	8/20	8/16	8/15	8/25	8/21	8/24	8/13	8/22	8/24
ニュー黄金桃	8/21	8/22	8/19	8/18	8/26	8/23	8/25	8/13	8/23	8/25
黄金桃	8/23	8/24	8/21	8/20	8/30	8/25	8/27	8/16	8/25	8/27
ニュー黄貴妃	9/6	9/7	9/8	9/7	9/12	9/6	9/8	8/29	9/7	9/8
選抜白根(岩戸系)	9/10	9/11	9/8	9/11	9/15	9/10	9/14	9/4	9/12	9/14
在来系白根白桃	9/14	9/15	9/10	9/15	9/20	9/13	9/19	9/8	9/15	9/18
ゴールデンピーチ	9/18	9/19	9/15	9/16	9/23	9/18	9/22	9/13	9/20	9/21

次面には、かん水・仕上げ摘果について記載しておりますので、再度ご確認ください。

1、かん水について

- ・10日以上、雨が降らない場合は、右表を参考にかん水を行なう。
- ・10a 当り 1 ミリのかん水を行うには、水量 1 t が必要です。
- ・保水性の低い砂質土壌や根域の浅い土壌では、1 回のかん水量を少なくし、間隔を短くする。
- ・水源が少ない場合は、細根があると思われる部分に重点的にかん水する。

もも 時期別のかん水量の目安 (成木)

時期	10 a 当り かん水量
5～8月(成熟 10 日前まで)	20～30ミリ
成熟 10 日前～成熟期	5ミリ

2、仕上げ摘果

満開 40～50 日後頃に実施

* 本年は、6 月 1 日～6 月 10 日頃を目安に実施する

もも 結果枝別着果量の目安

結果枝	予備摘果	仕上げ摘果
長果枝	2～3 個	1～2 個
中果枝	1～2 個	1 個
短果枝	0～1 個	0～1 個

3、仕上げ摘果の要領

低温被害等により結実にバラツキがある場合や不足している場合

(長野県果樹指導指針より)

⇒ 品質・着果位置が悪くても基準量確保のため残す

- ・成木 10 a 当りの目標着果量は、10,000～12,000 果とする。樹勢が弱い場合は、着果制限する
- ・残す果実は、大きくて扁平な果実を残す
- ・着果位置は、結果枝の側方、または下方の果実を残す (上方は摘果する)
- ・長果枝 (30cm 以上) が 2 果、中果枝 (10～30cm) が 1 果、短果枝 (3～10cm) が 6～10 枝に 1 果着果させる (* 図 1 参照)
- ・葉枚数は、モモが 1 果当り 40～60 枚、ネクタリンが 30～40 枚必要
- ・順序は、白鳳系・あかつき・なつっこ・白根 → 川中島白桃・ネクタリン → 黄金桃とする (黄金桃やファンタジアは生理落果が多いためやや遅めに実施する)

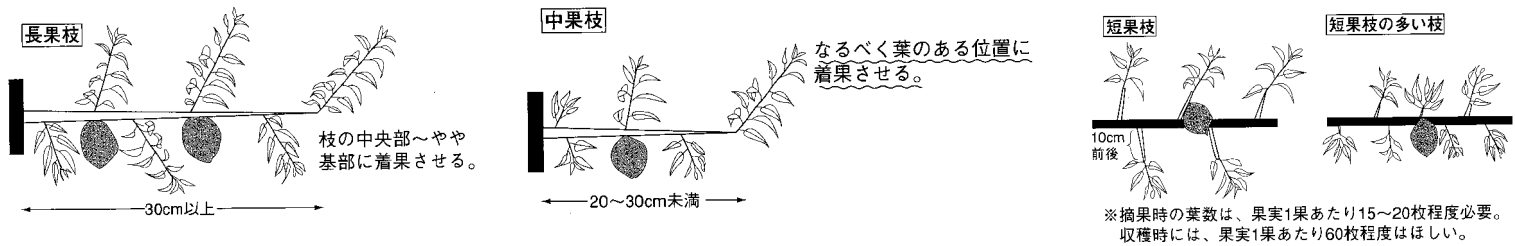
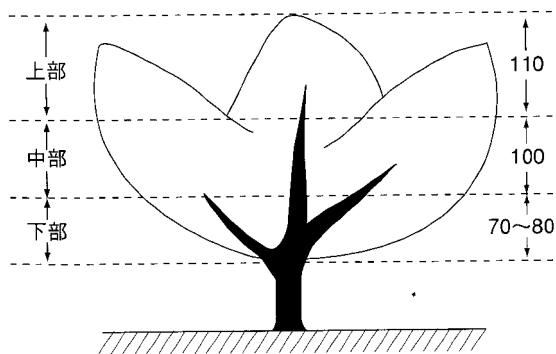


図 1 結果枝別の最終着果量

4、仕上げ摘果の留意点 * 硬核期 (満開後 50～70 日) の極端な摘果は、核割れを助長するので控える。

- ・日照条件の良い樹冠上部の着果量を多めに、条件の悪い下部を少なめにする (* 図 2 参照)
- ・大きくて丸味のある果実は、双胚果の可能性が高く、生理落果や「核割れ」発生の要因にもなるので摘果する (* 図 3 参照)
- ・生理落果や双胚果が多い場合は、仕上げ摘果でも多めに残しておき、袋掛け前に修正する
- ・無袋栽培は、枝葉の繁茂によって、果実が見えにくいため着果過多や着果ムラになりやすいので、枝を持ち上げて下方からよくみて実施する。



樹冠中部の着果量を100とした場合
 ・玉張りの悪い下部は70～80程度と少なめにする。
 ・玉張りのよい樹冠上部は110程度と多めに残す。

図 2 樹冠部位置別着果程度

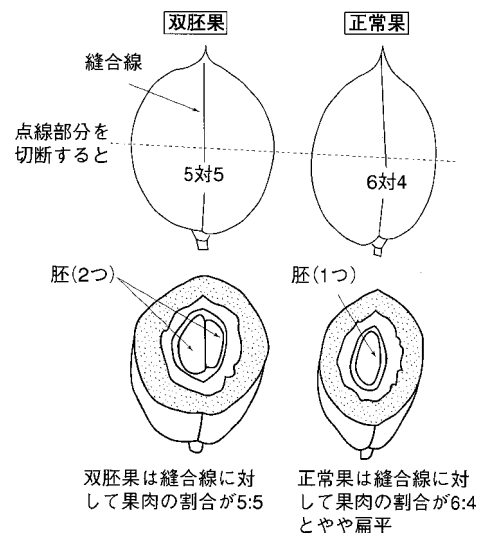


図 3 双胚果と正常果の違い